

第76回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所
ケアステーションるぴなす

令和8年7月30日

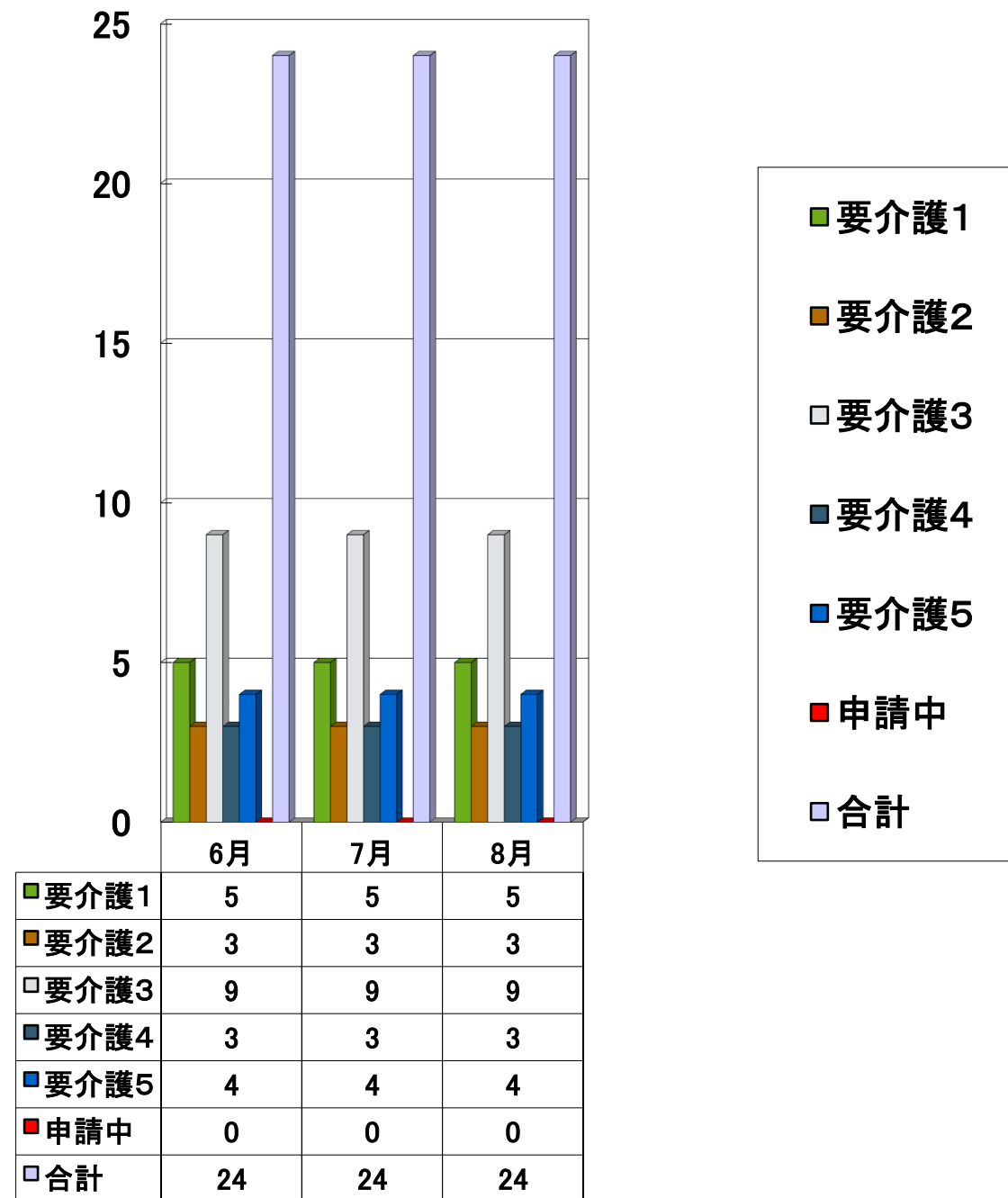
第76回運営推進会議

- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者
- 活動報告
- 意見交換

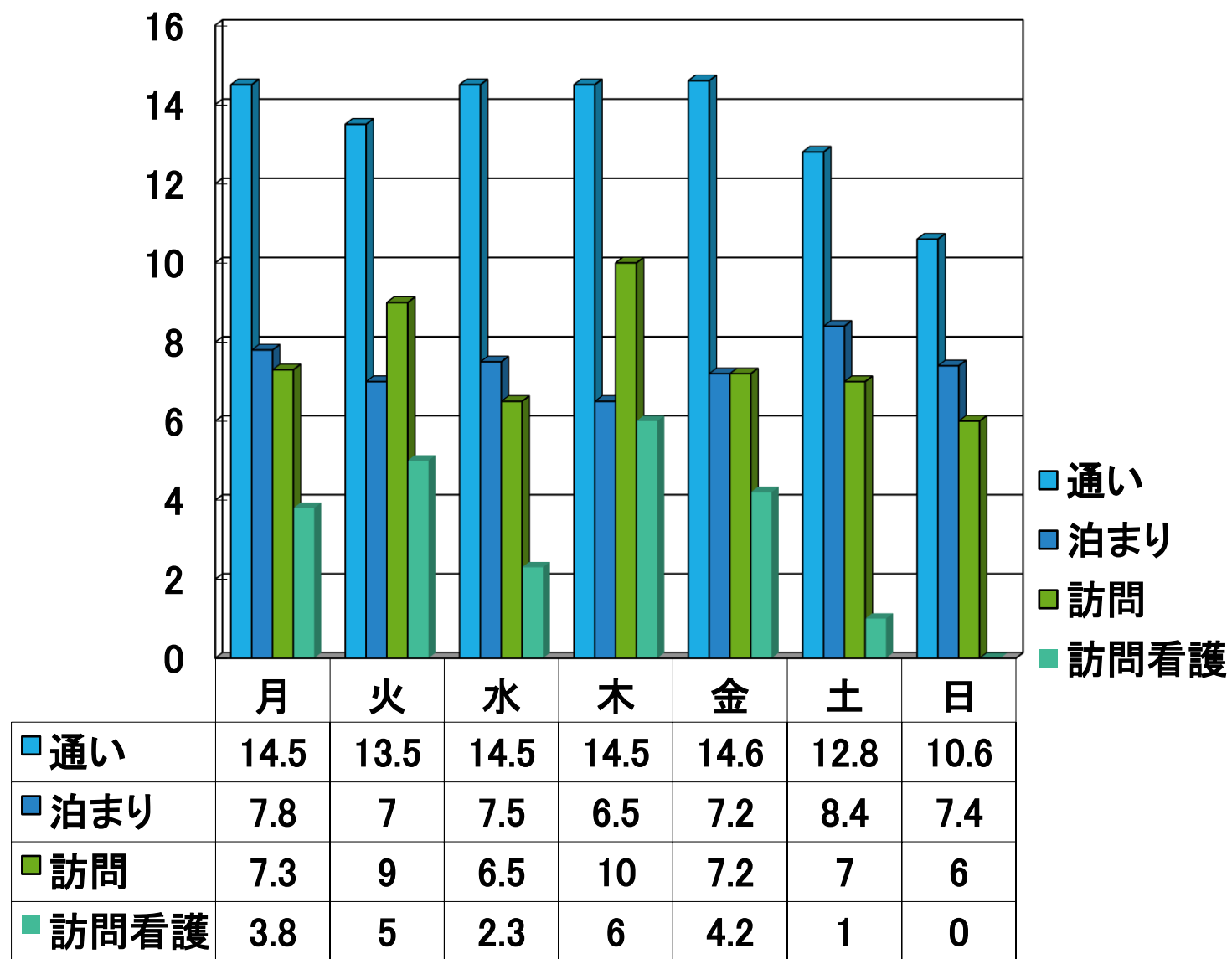


登録利用者数 令和8年6月～令和8年8月

7月
平均介護度 2.92



令和8年7月 曜日別延べ利用者数



◆新規利用者紹介

〇〇・T様 男性 84歳 要介護1

〇〇・R様 女性 88歳 要介護1

夫婦二人暮らし。生活保護。どちらも物忘れがあり、飲食物の管理など、できない事が増えてきた。近所の知人が県外在住の娘様に連絡し、介護認定を受けた。看護小規模多機能の利用により、見守りの目が入り、自宅の環境を良くしていきたい。入浴もしてもらいたい。

6/22利用開始。毎日訪問し、服薬確認、環境整備。週1回通いによる入浴にお誘いする。隔週で訪問看護が訪問し、体調管理をしていく。

7/10（金）参加

子ども：18名

おとな：52名 計70名

2026.7.1新潟市の子ども食堂ネットワーク加入

子どもの居場所づくり支援事業助成金を受けて活動
しています

（新潟市社会福祉協議会）



7月10日（金）

17時00分～18時00分

会場：斎藤内科クリニック

高校生以下
子ども
無料

～お知らせ～

原材料費の高騰及びみんなの食堂の安定的な活動継続
の為、今回より価格を変更させていただきます。
また、多くの皆様からご利用頂きたい為、ご来場者
おひとりにつき、2個までとさせていただきます。
どうぞご理解の程、宜しくお願い致します。

おとな
300円



今回のメニューは
ポロネーゼ

限定50食
無くなり次第終了



申し込み
不要

主催：ケアステーションるびなす

☎ 025-257-7141

地域交流 イベント

冷たいおやつフェス

大人も子供も
大歓迎！

こども
中学生以下
無料！

おとな
200円

★はじける夏を楽しもう！！★

パチッ！パチッ！

トッピングは
秘密！

ラムネ

当日
お手伝いいただける
ボランティア
募集中！

日にち： **8月6日 木曜日**

時間： **14時～15時**

会場・主催： **ケアステーションるびなす**

住所・電話： **新潟市中央区高志2-20-10 ☎025-257-7141**

※数量限定のため、早く予約満了とご予約を、また、雨天時は中止する場合がございます。

お知らせ

どなたでも
参加
頂けます

2026
高志二丁目

**るびなす
祭り**

入場
無料

日時 **9/13 日**
午前10:30～12:30

場所 **斎藤内科クリニック駐車場**
中央区高志2-20-3

※会場には、駐車場はございません
お車でのご来場はご遠慮下さい

※お楽しみ
抽選会
もあるよ

屋台
ポップコーン／かき氷／るびなすオリジナル／
フリーマーケット／スーパーボールすくい／射的／
ミニサッカー／アーチェリー／モルック／
バルーンアート／野菜詰め放題など
ステージイベント（キッズダンス／和太鼓演奏）

祭

建物の中では、るびなす看護師
による健康相談会も開催！！

主催：ケアステーションるびなす
共催：高志二丁目自治会・斎藤内科クリニック
問い合わせ：025-257-7141

令和9年度介護報酬改定に向けて、3年1サイクルの3年目を迎え、来年度の介護報酬改定に向けた議論が活発化しています。
小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護に関しては令和8年5月25日開催の第257回社会保障審議会介護給付費分科会において改定に向けた基礎資料が示されました。

看護小規模多機能型居宅介護の現状と課題現状と課題

- 看護小規模多機能型居宅介護は、平成24年度に、医療行為も含めた多様なサービス（通い、泊まり、訪問（看護、介護））を提供することで、在宅生活への移行や看取り期の支援、家族に対するレスパイト等に対応するサービスとして創設。
- 報酬は、要介護別の月単位の定額報酬であり、請求事業所数や、受給者数、費用額は近年増えているが、自治体差がある。
- 要介護3以上の利用者は約64%、平均要介護度は3.2であり、小規模多機能型居宅介護や他の居住系サービスと比較して利用者の要介護度は高く、中重度の要介護者の在宅療養の継続を支える地域の拠点として役割を果たしている。（ケアステーションるぴなす 67%）

■ また、・利用終了者の転帰別平均人数をみると、医療施設への入院及び死亡（看取り）が増加している。特に死亡（看取り）は自宅が平均0.8人、看護小規模型居宅介護1.2人と、自宅より看護小規模多機能型居宅介護における看取りが多い。・看護小規模多機能型居宅介護の短期利用は緩やかに増加しており、利用者以外の短期利用居宅介護を受け入れている事業所もある。・共生型サービスへのニーズに対応するため、医療ニーズの高い障害児（者）の通い・泊りに対応している看護小規模多機能型居宅介護もある。

■ このように、看護小規模多機能型居宅介護は、利用者の状況に応じて「通い」、「泊まり」、「訪問（介護・看護）」を柔軟に組み合わせ、利用者のニーズに応じたサービス提供が行われている。

■ 介護報酬は、累次の改定により、加算の種類が増加するとともに、加算の取得要件が複雑化しており、令和6年度改定における審議報告においても、「利用者のわかりやすさという観点や介護サービス事業者の事務負担軽減の観点から、報酬体系の簡素化について、引き続き検討していくべき」とされている。算定率が低い加算には、例えば、専門管理加算、認知症行動・心理症状緊急対応加算などがあり、算定率の高い加算には、緊急時対応加算などがある。論点

■ 医療ニーズを有する中重度の要介護者の生活を支える地域の拠点である看護小規模多機能型居宅介護の更なる普及が求められる中、期待されるサービスを安定的に提供する等のために、どのような方策が考えられるか。

■ 令和6年度改定における審議報告も踏まえ、利用者のわかりやすさという観点や介護サービス事業者の事務負担軽減の観点から、算定率が低い加算や算定率の高い加算についてどのように考えるか。

※専門管理加算（2026年6月～）

○がん看護専門看護師

○特定行為看護師（創傷管理関連）

第76回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所 ケアステーションるびなす

開催日時：令和8年7月30日(木) 17:00～

出席者：高志二丁目自治会長・岩〇様，民生委員・〇間様，地域包括支援センター山潟・小〇様

ご利用者ご家族・石〇様，法人代表・斎藤先生，法人総務・物江

看護小規模管理者・吉井，計画作成担当・中村

1 はじめに

2、利用状況報告

- ・登録利用者数：24名
- ・通い利用者数：10～15名／日
- ・泊まり利用数：6～9名／日
- ・訪問：6～10名／日 一人に複数回の訪問あり。通いと訪問の併用あり。
- ・訪問看護：1～6名／日

3 新規ご利用者

- ・体は元気だが認知症が進み、物忘れがあり、夫が同じ物を買う。野菜、果物など、使わないが買う、人にあげるのが好き。お弁当をそのまま置き、カビが生える、忘れてまた買う、管理ができない。訪問で悪くなった物を捨てているが、冷蔵庫がいっぱいで入らない、捨てるも買う、の繰り返しとなっている。お風呂にも入れていないと思われ、衛生面、栄養面が心配。しかしご本人達は何も困っていない、自分で行いたい気持ちがあり、介入が難しい部分がある。毎日見守りで入り、何かあった時に対応できるようにしたい。

4、活動報告

○梅シロップ作り

- ・よく手を動かされていた。

○新潟医療福祉カレッジボランティア活動

- ・介護福祉士を目指す1年生、初めてのご利用者とのふれあいとなる。1回目はご利用者とコミュニケーション、2回目はレクリエーションを企画。はなさかじいさんの演劇、木に撒く灰を新聞紙を切って作り、撒いたところの写真。

○日頃の様子

- ・中庭のびわの木が豊作で、収穫し食べている所。

○七夕

- ・飾り作り。短冊に願いを書いて飾った。

○消防避難訓練

- ・日中想定で、地域の方にも中の様子を見て頂いた。
- ・風〇様より：事前に訓練の声掛けをされ、役割分担ができていて良かった。ご利用者への声掛けもスタッフ同士のやりとりも手順良くできぱき動いていた。入浴や食事をしている時もあるでしょう、熱い時・寒い時はどうなんだろうと思った。
- ・訓練は計画し繰り返し、体に身に着いてきている。しかし災害はいつ起こるかわからない。訓練には机上訓練もある。自治会では秋に地域の防災訓練がある。

○お誕生会

- ・ご利用者からご利用者へお花を贈呈された。

○みんなの食堂

○地域交流イベントのお知らせ

○看護小規模多機能型居宅介護の現状と課題

5、意見交換

- ・小多機，看多機は、生活全般的に見ていく必要がある人が増えているのでニーズが高くなっていると感じる。中学校区に1つと言われていたが今は3つある。
- ・専門看護師，特定行為看護師を配置。専門的視野で関われる。在籍しながら勉強し資格を取った。
- ・生ごみのゴミ出し問題。草取り，除雪。
- ・地域の要支援の支援計画、個人情報があるので難しい，役員だけでは足りない。要支援は登録制だがわからない人もいる。高齢者は増えている。
- ・地域の仕組み、使える制度の情報を皆さんに知ってもらうにはどうしたら良いか。
- ・母が泊まり利用できて助かっている。眠っていると歩くのが重い。車椅子が良いかと思うが、まだ歩けているので支えて歩いている。薬の調整で戻っている所もあり、電話ではっきり喋っていた。



ありがとうございました

いつも大変お世話になっております。
今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同